

# 気持ちの育ち



以前までは、自分の作った物を壊されてしまったり、取られてしまったりとトラブルがあると、互いに手が出して怪我に繋がってしまう場面があったばなな組…。色々な経験をし、お友だちと共有し楽しんできた事、保育士の仲裁のもと相手の気持ちにも少しずつ気付けるようになってきました。

この日もお友だちの物とは知らず使ってしまった事でトラブルに…。ただ、この表情から読み取れるよう自分の気持ちをぐっところえ相手の子の気持ちにも少しずつ寄り添おうとしている様子が伺えます。相手の子も自分がしてしまった事を素直に受け止め申し訳なさそうに、気に掛けているようです。保育士がすぐに間に入るのではなく、あえて見守り子ども気持ちの変化を読み取っていきました。



ごめんね…  
と伝えるかのようにそっと  
相手の子に寄り添い  
最後まで見届けています

しょうがないか…  
違うものを使って作ろう！  
  
自然の営みの中で相手の  
ことを許せる気持ちの育ち

こういった互いの心の育ちが、クラス全体を通して見られる事が増えてきました。

子ども達なりのスピードで一步一步、心の成長をしているのだなと

進級を目前にしたこの時期に見る事ができ